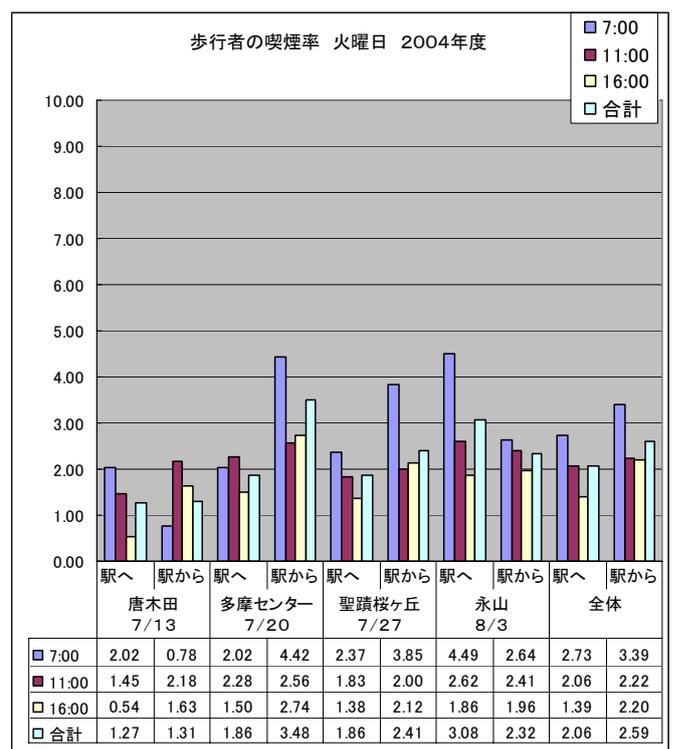
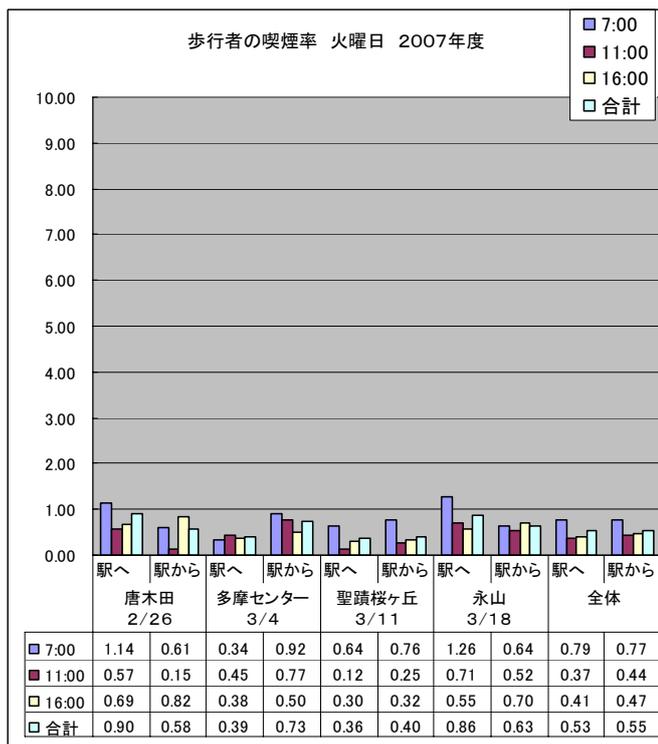
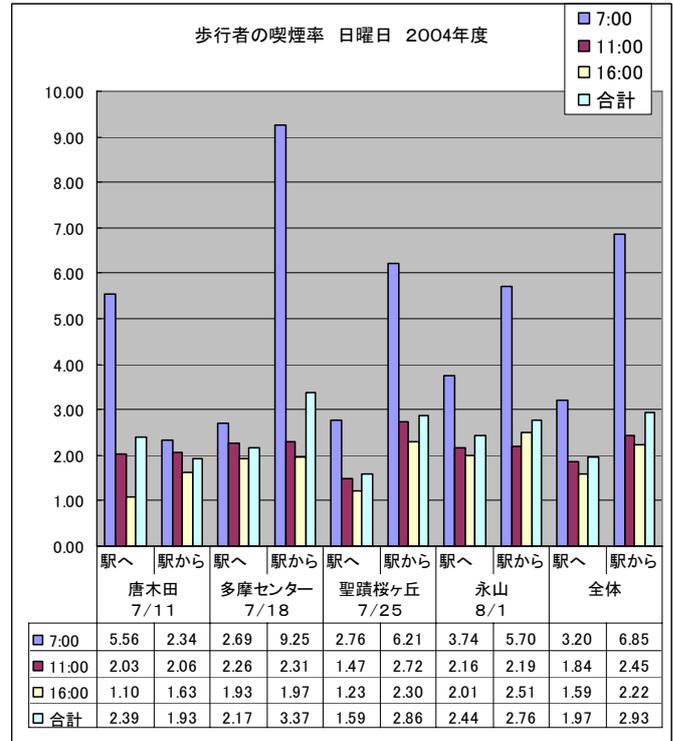
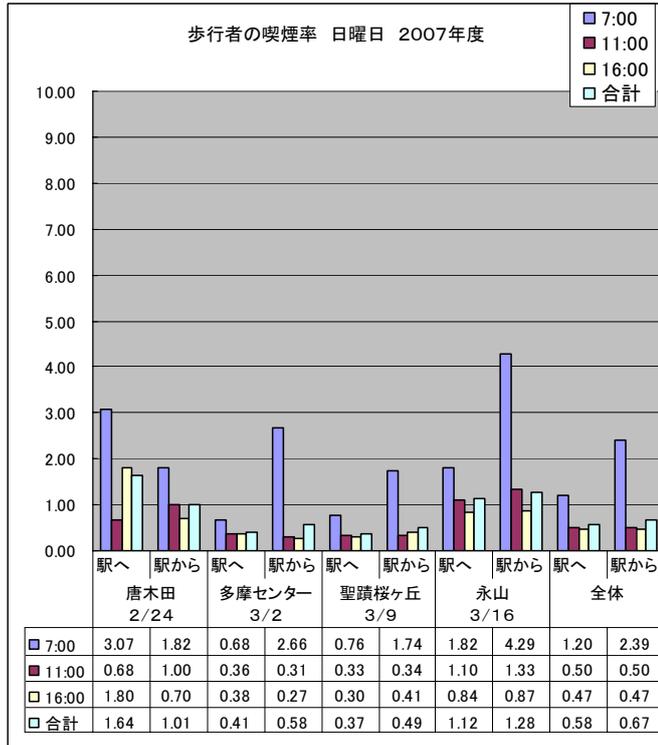


多摩市 街美化に向けての実態調査 2007

多摩の歩きタバコ・ポイ捨て・落書き

平成 20 年(2008 年) 2月から3月にかけて、多摩市環境部は恵泉女学園大学に委託して「多摩市 街美化に向けての実態調査」を実施いたしました。恵泉女学園大学から10名の学生が参加してこの調査を実施しました。(同種の調査が 2004 年 7 月から 10 月にかけて実施されています)

I 歩きタバコ調査



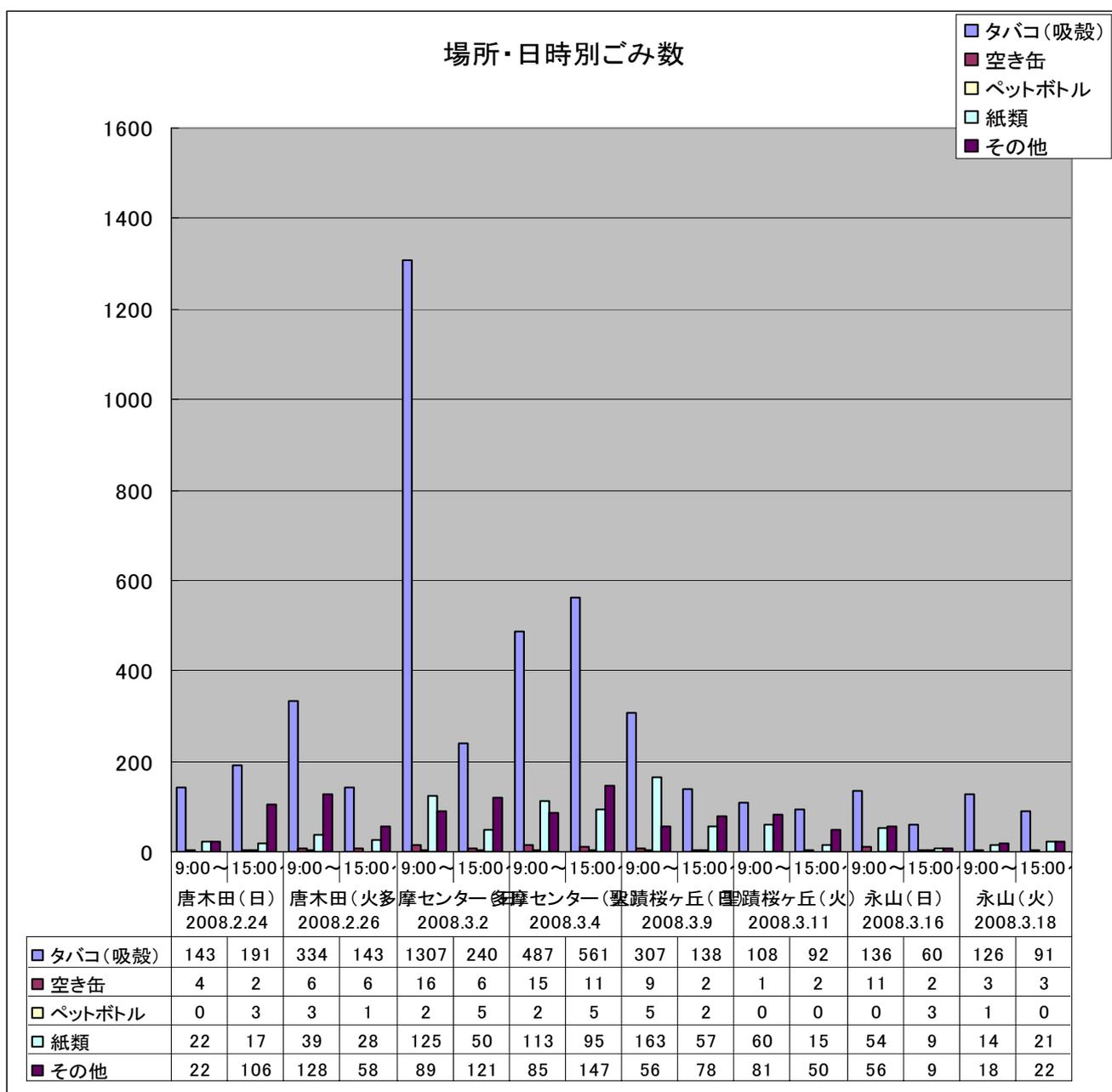
歩きタバコ調査は、唐木田駅・多摩センター駅・聖蹟桜ヶ丘駅・永山駅の周辺(喫煙禁止区域内)で2月24日から3月16日にかけての日曜日と火曜日に実施しました。調査時間は各時間帯2時間です。(7:00は7:00～9:00の調査を意味します)

2004年度の調査に比べて、どの地点でも喫煙率が大きく下がっています。この路上喫煙率の大幅な低下は2006年3月に、「多摩市路上喫煙の防止に関する要綱」によって、駅周辺が路上喫煙禁止区域に指定され、また喫煙スポットを設置して分煙化が図られたことや喫煙マナーアップキャンペーンによる啓発活動の成果と考えられます。

全般的な傾向として、「早朝の喫煙率が他の時間帯に比して高い」ということ、「駅へ向かう人より駅から出て目的地に向かう人の喫煙率が高い」と言えます。今後の啓発活動を考える参考になるのではないのでしょうか。また、喫煙禁止区域の範囲と喫煙スポットの場所の表示は分かりやすいとはいえません。美観の問題もありますから、掲示を増やすことで解決できる問題ではありませんが、工夫が必要です。

II ポイ捨てゴミ調査

歩きタバコ調査と同日の9時と15時に、喫煙禁止区域の外周道路のゴミを拾いカウントしました。



2004年度の調査に比べて(調査の時間、手法は異なりますが)、ゴミの数が著しく減少しています。ポイ捨てゴミの数の6割程度がタバコの吸殻ですから、歩きタバコ者数が減ったことが要因の一つと考えられます。また、調査地域内の企業や事業者による清掃が前回調査時に比べて増加していることも見落とすことはできません。

ポイ捨てゴミが多かった場所としては、駅前広場等のベンチ周辺、喫煙禁止区域直前の交差点・階段・駐車場、商店や事業所に面していない歩道などがあげられます。以下の写真はその具体例です。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



- ①前夜のゴミが残った早朝の駅前ベンチ この後、清掃が行われました。
- ②喫煙禁止区域直前にある駐車場の側溝 柵越しに投げ込まれたゴミ。
- ③駅前の空き地に駐車された自転車とオートバイ 吸殻も多い。
- ④公園のベンチ前の吸殻 落ち葉も多く、火災の危険も。
- ⑤側溝の格子蓋の近辺には吸殻が多く捨てられています。
- ⑥面白半分に投げ込まれたゴミでしょうか。缶と吸殻が目立ちます。
- ⑦車道端の吸殻も多くあります。

調査者の安全上の問題から、車道のゴミはカウントも回収しませんでした。車からポイ捨てされた吸殻や、風に飛ばされ吸殻などは、依然として多くありました。また、日曜日の聖蹟桜ヶ丘駅周辺は駐輪場以外での駐輪も目立ちました。(自転車が約 300 台、オートバイが約 10 台)

今回の調査で回収したゴミの量は、不計測の一日を除いた 7 日間で、約15kgでした。(その何倍ものゴミが、企業や商店、ボランティアの皆さんの協力で回収されています)

どのようにしたら、これらのごみを減らすことができるでしょうか。皆さんもよい方法を考え、提案してください。

III 落書き調査

今回は歩きタバコ調査・ポイ捨て調査と同時に 4 つの駅周辺を調査しました。

住宅街での落書きはあまり見られませんでした。繁華街とくに飲食店街や幹線道路沿いの電柱

や橋脚、分電盤にはかなりの落書きや貼り紙がありました。



階段脇や階段下への落書きもよく見かけました。きれいに塗りなおした場所に再度落書きも！



公園の遊具にも！



落書きは「早く消す」「何度でも消す」「できるところから消す」「とにかく消す」「楽しく消す」がポイントと言われます。何が出来るのか、ぜひ考えてみましょう。